



ごうし栄一

県議会だより No.17



しあわせの
和を
繋ぎたい

ごうし栄一事務所

山口市赤妻町3番20号 信和ビル2F
TEL (083)921-5455 FAX (083)921-5411

謹賀新年



山口市小郡・禪定寺山より

平成二十五年正月

新年のごあいさつ



山口県議会議員

合志栄一

明けましておめでとうございませう。

皆さまには、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、何かとお世話になり、温かいご支援を賜りましたこと心から感謝申し上げます。

おかげで身近な地域や暮らしのことから国の安全保障の問題まで、また震災被災地への復興支援等、大小様々な諸課題に県議としてしっかりと取り組みを尽くすことができましたことを有り難く思っております。

定例県議会では、毎回質問に立ち県政上の重要なテーマを取り上げ、政策論議を提起して県の適切な対応を求めました。

2月議会では「震災ガレキの広域処理問題」を、6月議会では「中・心商店街活性化対策」を、9月議会では「岩国基地問題」を、11月議会では「産業政策」を質問致しました。

さて、ご案内のように昨年末の総選挙で自民党が大勝し政権復帰を果たしたことから、本年は安倍新総理のもと日本再浮上への期待が高まっています。

また、国会に一定の議席を確保した日本維新の会の動向も注目されるところでです。

私は、我が国のこうした新しい政治の胎動が、「21世紀の世界の希望となる日本」の実現に向かうことを願っております。

そして、地域と暮らしをよくする慈しみの政治が原点であることを肝に銘じ、維新の地山口の県議としてそのような日本の国づくりに貢献していきたいと思っております。

皆さまのご理解と、ご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

終わりに今年一年の皆さまのご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

年頭のごあいさつ



合志栄一後援会
会長 河内義重

平成二十五年の
新春を寿ぎ、皆様
あけましておめで
とうございます。

旧年中に賜りましたご支援、ご協
力を心から嬉しく、御礼申し上げ
ます。

さて、昨年十二月に実施されま
した衆議院議員選挙に於いて、皆
様方のご協力により自民党の勝利
となり政権を奪還することが出来
ました。ご同慶にたえません。

私共は、国民の一人として、我
が国の国難を国民の立場として自
覚し、それぞれの役割を果して行
く事が大切ではないかと思えます。

一方、山口県も二井県政から山
本県政へと変わりましたが、県政
の持つ課題もまた多く県民にその
負担も此れありですが、合志栄一
県議は常に変わらぬ才覚を発揮せ
られ、県民に密着した活躍をして
おられます。私共は後援会として

その前進をより効果的に課題の
解決に向かって活動できる手段と
して日頃の勉強会、各集会及びク
ラブ活動等を通して努力すること
が一つの方策と思えます。

なお、合志栄一県議の活動資金
団体の栄山会へのご支援もよろし
くお願い申し上げます。

平成二十三年三月十一日に起き
ました東日本大震災から三年目を
むかえようとしております。

復興への道も中々進んでおりま
せんが、私共は此の現実を風化す
ることなくお互いに頑張っていく
支援活動も続けたいと思えます。

此の一年が皆様にとって幸せで
ありますよう、心から祈念致し、
ごあつさつと致します。

岩国基地問題について

9月県議会報告

山本繁太郎新知事が就任して初
議会となる九月定例県議会は九月
十九日に召集されました。

そして、主に緊急雇用対策費等
を計上した総額二億千六百万円の
補正予算案や、「産業力」の再生強
化を担当する二人目の副知事を選
任する議案等十二件を可決して十

月五日に閉会いたしました。

私は、九月二十六日に登壇し、
「岩国基地問題について」というこ
とで、

- ① 日米同盟について
- ② 日中関係について
- ③ 在日米軍基地について
- ④ 基地機能の強化について
- ⑤ オスブレイについて
- ⑥ 沖縄の負担軽減について

の六項目にわたり一般質問を行
いました。

MV-22オスブレイについて
は、定量的に分析すれば安全性が
向上していることを指摘しました。

そして、岩国基地が受け入れる
べきは、厚木基地の空母艦載機で
はなく沖縄の負担軽減につながる
基地機能であることを主張しまし
た。

これに対し県からは、「空母艦載
機の岩国移駐と沖縄の負担軽減は、
統一的なパッケージであるとの国
の説明を受けて、これに協力する

姿勢で対応している。」旨の答弁が
ありました。

岩国基地が、県民の理解と支持
のもと、我が国の安全とアジア地
域の平和のために、必要な機能を
確保し安定的に運用されていくよ
うに行っていくことは、山口県政の
大事な役割であるとの考えから、
この質問を行いました。

これからも地域と暮らしの課題
にしっかりと取り組みつつ、地方の
現場の視点から国の政策に対して
も発言してまいります。

産業政策について

11月県議会報告

昨年十一月二十八日に召集され
た定例県議会は、総額五十七億七
千五百万円の補正予算案をはじめ
とする十四議案を可決して十二月
二十六日に閉会しました。

私は、十二月二十日に一般質問
に立ち、「産業政策について」とい
うことで、

- ① 産業戦略本部について
- ② 中小企業対策について
- ③ 林業再生への取り組みにつ
いて
- ④ 観光力強化についての
四項目について所見を述べ、県の
適切な対応を求めました。

実践的産業戦略本部を

産業戦略本部は、山本新知事の
肝いりで、今年の四月発足予定で
設置の準備が進められているもの
です。

こうした組織は往々にして計画
づくりが主たる役割になり課題解



決の実践が伴わないケースがある
ことを指摘した上で、産業戦略本
部はそうではなく実践組織になる
ように求めました。

これに関しては山本知事より、
「産業戦略本部は、部局横断かつ日
の実現型の組織とし、当面する課
題の解決にスピード感を持って取
り組んでいく実践組織として機能

させたい。」旨の答弁がありました。

大胆な中小企業対策を

中小企業対策は、県内の中小企
業を取り巻く経営環境が、一層厳
しさを増すと予想されるなか、大
胆な中小企業対策を求めたもので
す。

これに対して、半田商工労働部
長から、「中小企業支援ネットワー
クを構築するとともに、中小企業
制度融資において、セーフティネッ
ト資金の融資枠を五十億円拡大す
る等、万全を期す。」旨の答弁があ
りました。

林業の基幹・先端産業化を

ドイツの成功事例に学べ

林業再生への取り組みについて
は、昨年十一月にNHKのクローズ
アップ現代で放送された「眠れる
日本の宝の山」林業再生への挑戦
を紹介して林業を基幹産業、先端
産業に生まれ変わらせることに成

功したドイツの事例等を示し、本
県林業を基幹産業に再生させてい
くことに挑戦するよう促しました。
北野農林水産部長から、「木材
の生産から、加工、利用までの連
携した施策を一層強化し、産業政
策として重要な本県林業の再生に
取り組む。」旨の答弁がありました。

観光力強化を

観光力強化については、観光政
策の指標となる統計データ把握の
問題点を指摘した上で、観光に関
する客観的で有効な統計数値の把
握が重要であり、これを効果的に
活用して観光政策を推進すべき旨
訴えたものです。

渡辺地域振興部長から、「今後
の観光戦略の検討にあたり、県の
観光客動態調査の精度の向上を図
りつつ、国の統計数値との関連を
整理し、的確で分かりやすい統計
となるよう改善を行い、観光力の
強化を図る。」旨の答弁がありま
した。

産業力の強化は、県民福祉をは
じめあらゆる施策の基本、土台と
なるものであることから、これから
もしっかり取り組んでまいります。

合志県議 土木建築委員会での活動



10月16日（視察1 仙台）
特定重要港「仙台塩釜港」について
仙台国際貿易港整備計画の状況と今回の被災状況と復興及び防災対策の調査

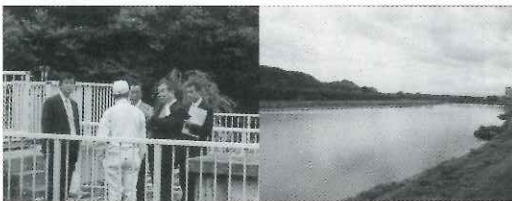


仙台土木事務所 七北田川の河口

10月17日（視察2 仙台）
仙台市北部に流れる七北田川の被災・復旧及び防災対策（洪水）等の調査



7月17日（視察3）
奥州市の胆沢ダム建設目的と建設工法等の調査



県企業局県南施設管理所 工業用水貯水湖

10月18日（視察4）
岩手県北上市内の第一北上中部工業用水道施設を工業用水道事業の課題である安定供給・老朽化とこの度の震災の被災状況の調査



岩手河川国道事務所

10月18日（視察5）
宮古盛岡横断道路（国道106号）の内陸と太平洋沿岸との広域的な効率化の道路改良（バイパス）の建設・建設工法等の調査

福島第一原発事故が発災した時、日本は国家存亡の淵に立たされた。原子炉格納容器爆発が起きたら、首都圏を含む三千万人から五千万人避難という最悪事態が現実になる可能性があったからだ。かかる事態を回避するためには、原子炉に水を注水して冷やし続けなければならない。また、原子炉内の圧力が設計限度以上にならないようバルブを開けて減圧しなければならぬ。こうした作業は、通常であれば管理室でスイッチを押せばできる。しかし、福島第一原発は地震と津波で全電源喪失状態となり、人が原子炉に近接して手動でその作業をやらなければならない事態となった。

その感動のドラマは、門田隆将著「死の淵を見た男」に詳しい。私は、この書を読みながら幾度も涙が溢れてくるのを禁じ得なかった。彼らの決死の作業で最悪事態は回避の方向に向かっていたのだが、水素爆発の発生で一変する。特に、二号機は注水や減圧が不可能となり、原子炉格納容器の破

裂は避けられない事態となった。その時までに発生した水素爆発では、原子炉の建屋は破壊されたが、原子炉自体は大丈夫で、放射性物質の拡散は抑制されていた。しかし、原子炉格納容器爆発となると原子炉内の放射性物質がもろに外部に放出され拡散することになり、その被害の甚大さは計り知れない。それを、原発事故対応を現地で指揮した吉田昌郎福島第一原発所長は、次のように回想している。「もう完全にダメだと思った。あとはもう、それこそ神様、仏様に任せるしかねえというのがあった。ところが、格納容器爆発という最悪事態はギリギリのところまで幸運な偶然に恵まれて回避される。

それは原子炉の下部にあるサブレーション・チェンバーという圧力抑制室のどこかに穴が生じ原子炉内圧力が低下したことによるものと推定されている。このことを、首相として原発事故対応に当たった菅直人前総理は、「まさに、神の御加護があったのだ。」と、福島原発事故を振り返った彼の著書に記している。人知、人力の及ばない不可知なところの働きが幸運な方に振れ、日本は国家沈没の危機を免れることが出来た。このことを、私も神の御加護と受け止めて、神は日本がどういう国になることを望んでおられるのかを問いつつ、今年も我が務めを果たしていきたいと思っている。神の御加護と決死の覚悟で原発事故に立ち向かっていった男達のおかげで、穏やかな新年を迎えることが出来たことに感謝しつつ。

「神の御加護」 3・11福島第一原発事故を振り返って

平成25年1月
山口県議会議員
合志栄一

- 7/13 山口県立山口博物館100周年記念企画
- 7/16 湯田地区商工振興会総会
- 7/19 山本繁太郎県知事候補決起大会
- 7/24 山口市民総踊り大会
- 7/28 旭日重光章叙勲 島田明感謝の集い
- 7/29 山口県知事選挙開票(山本繁太郎氏当選)
- 8/3 県道山口秋穂線改修促進期成同盟会
- 8/3 山口市ふるさとまつり「音楽フェスティバルと花火の夕べ」
- 8/12 山口七夕会山口支部設立総会
- 8/20 第18回 明日の障害福祉を考える会
- 8/26 嘉川地区戦没者追悼式
- 8/28 立正佼成会主催の議員交流会
- 9/2 山口市民体育大会

合志県議の活動記録

- 9/3 (学法)山口精華学園高等学校新校舎地鎮祭
- 9/4 山口県警察友の会総会
- 9/8 日本政治経済研究所第20回夏期セミナー
- 9/12 山口県議会運営委員会
- 9/19 9月定例県議会開会～10月5日まで
- 9/26 県議会一般質問
- 10/3 第38回山口市手をつなぐ親と子の集い会
- 10/4 コーネリアス飯田先生に学ぶ会
- 10/6 隊友会中国ブロック講演会
- 10/13 きらら物産・交流フェア2012

- 10/21 山口駐屯地創設57周年記念式典
- 10/21 宮野まつり
- 11/2 平成24年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練の参観
- 11/3 第22回おごおり福秋まつり
- 11/11 吉敷ふるさとまつり
- 11/28 11月定例県議会開会～12月26日まで
- 12/1 第37回ふれあい農業まつり
- 12/5 山口市倫理法人会役員会
- 12/8 鳳陽忌
- 12/12 衆議院議員候補 高村正彦決起大会
- 12/16 衆議院選挙投票 高村正彦氏当選(自由民主党圧勝)
- 12/20 県議会一般質問

祝 ご当選

昨年7月29日(日)の山口県知事選挙投票にて、合志県議が支援された山本繁太郎氏(63歳、元国土交通審議官、柳井市出身)が新人の3人を破って見事初当選をされました。
ご当選をお祝い申し上げます。



祝 安倍総理誕生

昨年12月26日、安倍晋三氏(山口四区)が96代で2回目の首相に国会にて選出されました。誠にめでたくございませぬ。また山口県人として大変誇りに思います。なお此の度、高村正彦氏(山口一区)は自由民主党副総裁、林芳正氏(参議院)が農林水産大臣、河村建夫氏(山口三区)は自民党選挙対策委員長にそれぞれ就任されました。心よりお祝い申し上げます。今日日本は困難問題が山積しております。力を合わせて一歩一歩日本を良き方向に進めていただきたいと思います。四氏先生方の今後益々のご活躍を祈念申し上げます。



「森林を楽しむ」

第15回 合志栄一勉強会から

時 平成24年10月19日
所 防長青年館

木材価格の低迷で森林は荒廃の一途

合志県議勉強会で森林の話について依頼され自分の浅学を顧みず森林について私の思いをお話させて頂きました。

現在の森林・林業についてはご承知のとおり木材価格の低迷から森林は荒廃の一途をたどっています。今回の勉強会では現在の森林の実態(理想的な森林、荒廃した森林)、木材生産の現場、木材の活用、そして森林に関わる様々な活動をスライドで見せし、紹介させて頂きました。

現在の森林において最も危惧されることは国産材の需要が伸びず木材価格が低迷し、戦後植栽されたスギ、ヒノキが伐採されずどんどん古くなっていくことです。高齢林の樹木は生長が徐々に低下し、CO2吸収機能も衰えてきます。

広葉樹においても同様に考えられます。今後、適切な森林管理がなされない限り、CO2吸収による温暖化防止対策等、森林の多面的機能が期待できなくなるかもしれません。県内のスギ、ヒノキの人工林は五十年前後が最も多く約二万三千haとなっております。

以前ならば伐採して建築用材として利用される大ききですが、現在の木材価格では伐採し市場へ出

荷しても採算がとれず、かといってそのまま放置しておいても森林荒廃につながってしまうため、国の施策として間伐材を搬出して木材の売上代金を間伐費用に充当しようとして搬出間伐事業を推進しています。

日本の木材の自給率は20〜30%とされていますが、十年後は50%を目標に掲げています。

このことはちよほど農業において米が余っていて生産調整をしながらも、食料の自給率が40%しかないのとよく似ています。

国産材が現在の生産システムでコストをどこまで圧縮でき、外材との価格競争に耐えられるか、また品質的にも外材に劣らないか等

の課題があり、どこまで自給率50%に近づけられるかハードルは高いと思われまふ。

しかし、現実としてこれだけ多くのスギ、ヒノキが育ってきているのですから何らかの対応をしなければ森林の荒廃はますます深刻な状況に陥ってしまうでしょう。

国産材の需要が増えれば問題はありませんが、あまり期待できず、建設以外での利用も検討されるべきでしょう。

すでにバイオマスエネルギーの実証試験も進んでいます。コスト高になっても言われています。極端な仮定ですが昔の電気、ガス等の化石燃料に頼らない薪、炭の時代にタイムスリップすればもつ

と森林が見直されると思われまふが、これだけ便利になった生活から後退することは不可能でしょう。森林・林業を語るには明るい題材は見あたりませぬ。

しかし時間は止まってくれませぬ。自然界は時間とともに刻々と進んでいきます。なにも出来ず、ただ見つめていく自分にはだちを感じまふ。皆さんのお知恵を結集し乗り切



第15回合志勉強会「森林を楽しむ」

らなければなりません。今回は「森林を楽しむ」と言うテーマの話でしたが、現在では一般の市民で森林を楽しんでおられる方はほんの一部だと思ひます。また、ほとんどの市民の方、そして森林所有者の方でも森林に対しての関心は薄らいできています。しかし、森林についてどう思ひますかと質問を投げかければ、地球環境保全、国土保全上、大切にしなければいけないと100%の方が応えまふ。

すべての方が森林(もり)を守つていかなければいけないと理解はされていますが、どうすれば森林に関り、守つていけるかがわからないのが現実ではないでしょうか。各地で森林ボランティアグループ等の活動、また地域での森林に関するイベントが頻繁に行われていますが募集人員、参加条件等を考えると十分とは言えませぬ。

今後どうすれば多くの市民が森林づくりに関わり合える環境が整えられるか検討していくことが私たち森林・林業に携わっている者の役割ではないかと考えまふ。

しかし、市民の手、ボランティアグループによる森林整備に今後の地域の森林の保全保護を委ねることには疑問を感じまふ。

今や木材生産としての経済価値が著しく低下し、森林は国民全体の財産であることを考慮すると、公的森林施策が必要不可欠ではないかと考えまふ。

前・山口中央森林組合理事
森林づくり活動コーディネーター

吉光 繁明

公的森林施策は必要不可欠

公的森林施策は必要不可欠

公的森林施策は必要不可欠

公的森林施策は必要不可欠

公的森林施策は必要不可欠

公的森林施策は必要不可欠

公的森林施策は必要不可欠

第6回 あいあいクラブ日帰り旅行『光市・柳井市・上関町・平生町』

毎年楽しみにしています。あいあいクラブの日帰りバス旅行に行っていました。

まず光市の伊藤公資料館(旧大和町)では、伊藤公御使用の立派な調度品が展示してあり、思わず見とれてしまい、資料館の隣にある生家は、それは質素で、ここから初代の総理大臣が産まれたと思うと感慨深げになりました。

次に柳井の茶臼山古墳に行き、風が強く吹く中でしたが、古墳に上がりましたら澄み切った空気の中で柳井、平生を一望でき、また古墳資料館では解説いただき、地元少年が遊んでいたこの古墳を発見したことや、出土品の説明があり、遺跡の展示品に感動いた

しました。

丁度、古墳を見終えた頃、お昼過ぎとなり上関町に向かい「鳩子の湯」での昼食となりました。

新鮮なお刺身に、揚げたての魚のフライ、それは美味しく食べて皆さん舌鼓を打ったことと思います。売店では、バスの中で盛んに事務局の酒井さんが宣伝しておられました。鳩子でんぶら、むろつてんぶらに、皆で群がり買いあさり即完売となったようです。

胃を満たした後は、中国電力開設の「海来館」へ行き、約一時間原子力発電の説明を受け、私達も質問をしました。そしてバスでは登る事の出来なかつた城山公園は車中からボラン

ティアガイドさんが解説して下さいました。

迎賓及び宿泊施設として利用された明治十二年に民間人が建てた四階楼にも立ち寄り、当時を感じさせるお洒落な洋風建物で三階までは色味のないシンプルで粋なつくりの内装に、最後四階に上がるそこには突然カラフルな色が飛び込んできて、綺麗なステンドグラスと天井には鳳凰漆喰彫刻があり、静から動に移るとも興味深い建物でした。

最後に、阿多田交流館(平生回天基地資料館)に寄りまして、閉館時間を少し過ぎての入館にも関わらず、丁寧に館内の展示品と共に説明下さり、皆食い入るよう

に話を聞き、時に目を潤ませました。

あとは帰るばかり、バスでは笑いあり歌ありでアツという間に山口についてしまいました。

出発する前は、今にも降り出しそうな空模様でしたが、皆様の普段からの善良な行いと、晴れて！という念力によりまして雨降ることなく、車中からも、またこの場所に行っても美しい紅葉を愛でることが出来、上関町を走っている時は特に、車中の眺めは美しく、今も盛りだくさんの企画内容で、楽しみながらも勉強もできるといふ一石二鳥の素晴らしい旅行でしたが、合志先生が欠席なので残念でしたが、本当にお世話になりました。

石村須賀子記

附記 ※阿多田交流館 0820-156-1100 熊毛郡平生町佐賀 3900-114



伊藤博文生家



茶臼山古墳(柳井)



茶臼山古墳資料館



鳩子の湯にて昼食



海来館で原子力発電の研修



四階楼(外装工事中)の前で



阿多田交流館(平生回天基地資料館)

第4回 よつば会ゴルフコンペ

ジャンケン特別賞「徳地米」は宮野地区メンバーへ

恒例のよつば会ゴルフコンペを去る10月28日(日)に、湯田カントリークラブにて好天の下、好スコア(?)で楽しみました。

ジャンケン特別賞「徳地米(10kg)」3袋は、宮野地区メンバーの方が、ゲットされ、西島数富さんは、2回目でした。

閉会の挨拶の中で合志栄一県議さんは、始めてスコア130を切ったと嬉しそうに、自賛されておられました。

打上げは、「定番」となったサービス満点の「一膳」にてチリ鍋で再度楽しみました。幹事さんに感謝。

優勝おめでとうございます。

(男性の部) 原田 博さん (女性の部) 浜田節子さん



開会の挨拶



スコア130を切った方



宮野地区の方3人います



重政芳巳幹事(グロス1位)さんの音頭でスタート

順位	氏名	アウト	イン	グロス	HD	NET
1位	原田 博	48	42	90	19.2	70.8
2位	伊藤信己	41	42	83	12.0	71
3位	吉永義夫	44	45	89	18.0	71
4位	河内義文	48	41	89	15.6	73.4
5位	松崎 篤	48	47	95	21.6	73.4
6位	重政芳巳	38	37	75	1.2	73.8
7位	宮原俊夫	39	40	79	4.8	74.2
10位	河村哲夫	45	41	86	10.8	75.2
12位	浜田節子	51	52	103	27.6	76.4
15位	加藤貴久	48	46	94	18.0	76
20位	佐藤英仁	47	46	93	15.6	77.4
25位	宮原正治	45	56	101	22.8	78.2
28位	小野善正	56	54	110	30.0	80
30位	西島子	49	54	103	22.8	80.2
35位	小野善誉	55	55	110	28.8	81.2
40位	西川和寿	64	60	124	36.0	88
BB位	合志栄一	67	60	127	36.0	91

合志栄一 コラム 人生の応援歌 FUYUMI 『風に立つ』

行きつけの居酒屋で、時々一緒にあったお客さんとカラオケを歌い盛り上がるのがあります。

そういう時の、持ち歌の一つが坂本冬美の「風に立つ」です。この歌を知ったのは、平成十四年の山口市長選挙に出馬した頃で、湯田の街とあるスナックが、私を支持するグループ仲間の溜まり場のようになり、「風に立つ」を、皆で歌っては大いに盛り上がり勝利への闘志を燃やしたものでした。選挙結果は見事当選、以来この歌は私の人生の応援歌となりました。

1番から3番まで、どの歌詞も私の気持ちにピッタリなのですが、特に2番の「泥にまみれて涙流しても、心に錦の華を持って」の一節は、グッと来ます。

とも締め括りは同じで「そうさ、人生やるっきゃないさ。」の繰り返し、ここを想いを込めて歌い終わると少し高揚した気分になります。

確かに色々あろうとも、やるっきゃない人生。これからは、世のため人のため泥にまみれて、皆さまと共に喜びの涙を流す、そんな人生を歩んでいきたいと願っています。時々この応援歌で自らを励ましな

合志県議の 2012年 (7月～12月)



7月21日 出雲光一(自衛隊出身)歌手デビュー20周年記念ディナーショーにて 合志後援会長挨拶



7月24日 嘉川子ども館「しゅっぱっぱ」の利用者の方々に囲まれ、満面の笑み



7月30日 鴻城義塾総合グラウンド竣工式にて 小田稜亮鴻城義塾理事長と



8月4日 おおどのコミュニティ協議会が主催する「つながる大殿七たちょうちんの灯」



8月16日～18日 東北震災地「石巻市牡鹿半島」視察とボランティア活動



8月28日 NPO法人・理事・事務局長 木山啓子さんの講演「心のケアと自立の支援」聴講後レセプションにて木山講師と



9月10日 第2回あいあいクラブ世話人会にて 県政を語る



10月14日 MOA美術館山口児童作品展



10月25日 第14期自治政策講座 in 盛岡一災害の実際と地域防災・減災・復興の課題一の研修参加の方々と



11月10日 山口大神宮参道の清掃活動を終えたあいあいクラブ会員有志



11月11日 全日本少林寺流空手道錬心館 中国・四国地区ブロック大会に合志県議挨拶



12月20日 三団体合同(山口市自衛隊協会・山口県隊友会・おやばとの会)忘年会



12月21日 11月県議会 土木建築委員会



12月21日 合志事務所にて陳情を受ける



12月23日 古武道寶尚会(空手・杖道・居合)稽古納会 合志会長納会挨拶

後援会活動メモ&予定

- 7月8日 山本繁太郎県知事候補推薦文書の発信
- 7月17日 ごうし栄一県議会だより「創」第16号発行
- 21日 艶歌々手 出雲光一デビュー20周年記念ディナーショー
- 29日 山口県知事選挙開票(当選 山本繁太郎氏)
- 8月18日 あいあいクラブ「道路クリーンアップ作戦」一の坂川清掃に参加
- 20日 第18回明日の障害福祉を考える会
- 9月10日 あいあいクラブ第2回世話人会
- 26日 9月定例県議会にて合志県議一般質問
- 10月5日 コーネリアス飯田先生ご夫妻来所
- 19日 第15回 合志栄一勉強会
- 28日 第4回 よつば会ゴルフ大会
- 11月10日 あいあいクラブ 山口大神宮境内の清掃活動
- 14日 第6回あいあいクラブ一日研修旅行(上関町方面)
- 12月16日 衆議院議員選挙開票(自由民主党圧勝)
- 20日 第3回あいあいクラブ世話人会
- 29日 合志事務所御用納め
- 1月4日 合志事務所御用始め
- 1月10日 ごうし栄一県議会だより「創」第17号発行
- 1月27日 合志栄一後援会幹事新年会及びあいあいクラブバザー会

栄山会のご案内

合志栄一氏の政治活動を資金的に支える目的で資金管理団体「栄山会」があります。この組織は、ご支援いただいた資金を合志栄一後援会活動経費等に充当し、幅広い支援をしております。諸事ご多端の折から恐縮ですが、「栄山会」の趣旨にご理解を賜わり、ご入会いただける場合には下記方法にてお願い申し上げます。
 【組織の名称】 栄山会 代表者 合志栄一
 【会費受付】 一口 年額 2,000円(複数口数可)※納付者は個人に限ります
 【会費振込先】
 ・郵便振替番号 01380-7-41 加入者名 栄山会
 ・山口銀行 山口支店(普) 6141625 栄山会代表 合志栄一

合志事務局 ガーデニング開始

～カサブランカ開花～

合志事務所は、ご存知のように信和ビル2階の一室ですが隣接する団地入口の道路脇に山口市所有の約5坪の花壇があります。2年前頃から放置され雑草地となっております。山口市の了解を得て、9月より事務局で管理しています。昨年11月にカサブランカ球根を多数植えましたので、6月頃には豪華な白い花の開花を祈っているところです。事務所にお寄りいただく時には、雑草の2～3本をお願いします。(T・S)

・あいあいクラブのバザー会に提供いただける物があれば合志事務所までご連絡下さい。 あいあいクラブ

